

平成 29 年度第 2 回幡多地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 30 年 2 月 13 日（火） 13：30～16：00

場所：幡多クリーンセンター 2 階 大研修室

出席：委員 21 名中、20 名が出席（代理出席 5 名含む）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 幡多地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 30 年度幡多地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 3 の改定のポイント（全体まとめ）について
- 2) 移住促進分野の取組状況について
- 3) 「志国高知 幕末維新博」第二幕の展開及びポスト幕末維新博について

議事 (1) (2) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

(No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業)

（長尾委員）

長期肥育鶏のブランド化については、ご要望があれば、JA としても協力していきたいので、施設整備の工程などの情報は早めにお知らせいただきたい。

（澤田地域産業振興監（幡多地域本部））

加工場は年度内に完成予定。適宜情報提供させていただくので、いろいろな協力をお願いしたい。

（野村代理）

先進的に取り組んでいる事業者が異業種交流の形で、コラボ商品など商品開発に取り組むことにより、土佐発、高知発の外商につながる商品ができるのではないかと。

（澤田地域産業振興監（幡多地域本部））

アクションプランには地域商社的な取り組みもあり、外に売っていくことと合わせて、事業者が連携した商品開発の取り組みも始まっているので、もっと輪を広げることにも取り組んでいきたい。

（立田委員）

補助制度や税の減免制度、県の担当部署などをワンペーパーで見られるような物がほしい。また、市、県、国補助金を整理した方が良いのではないかと。

（澤田地域産業振興監（幡多地域本部））

県の支援制度等については支援策活用ガイドを作成している。個別の案件は地域本部にご相談

談いただいたら、担当部局とも連携してアドバイスもできる。

(田野委員)

三原村のゆず、宿毛市の直七、四万十市のぶしゅかんの3つの柑橘類で連携した地産外商の取り組みが必要ではないか。

(澤田地域産業振興監 (幡多地域本部))

さまざまな素材や加工品ができているため、技術的に連携し、もっと魅力をつけて外商することを考えていきたい。

(No.18 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業)

(中脇委員)

菱田ベーカリーの躍進には目を見張るものがある。取り組み方などを地域の事業者に指導していただける場を作っていただきたい。

(澤田地域産業振興監 (幡多地域本部))

菱田氏もさまざまなところでお話をされているので、是非、機会を作りたいと思う。

(程岡委員)

幡多地域では、三原、西土佐、中村の奥のお米がおいしいと有名だが、清水のアラの肥料を加えるとさらにおいしくなるのではないか。また、そういった形でコラボして、米産地も清水も一緒に売り出していくなどの連携を考えていく必要があるのではないか。

(澤田地域産業振興監 (幡多地域本部))

県全体の成長戦略でも、お米のブランド化に取り組んでいる。三原村の集活センターでも取り組む予定があるので、そういったものともタイアップして、地域アクションプランに載せられるものは載せていきたい。

(2) 産業成長戦略について

(江口代理)

ポスト維新博は、幡多地域にとってプラスとなる取り組みだと思う。当協議会は中心となってやっていきたいので、ご協力をお願いしたい。

(沢良木委員)

改定のポイントである「海外への輸出の本格展開」を具体的に説明いただきたい。

(澤田地域産業振興監 (幡多地域本部))

欧州向けには、ユズや日本酒、魚などの輸出に本格的に取り組んでいく。また、台湾への輸出に取り組んできたことで得られたノウハウを生かして、他の国々への展開も図っていく。

(野村代理)

18歳で高知県を離れた者のうち、その後20から24歳程度で帰ってくる者の人数や、人口の自然減について、県全体の出生者数及び死亡者数を次回会議でお示しいただきたい。

(以上)